

平成25年2月27日

各 位

会社名 東京電力株式会社
代表者名 代表執行役社長 廣瀬 直己
(コード番号：9501 東証第1部)
問合せ先 総務部株式グループマネージャー 砂盛 京子
(TEL. 03-6373-1111)

米国産L Pガスの購入について

ー当社として初めて米国産L Pガスを米国プロパン連動価格で購入ー

当社は、米国産L Pガス（液化石油ガス〔L P G : Liquefied Petroleum Gas〕）の購入について、売主であるアストモスエネルギー株式会社（以下、アストモス社）と協議を進めてまいりましたが、本日、契約の主要条件について基本合意いたしました。今後、最終的な売買契約書の締結に向けてアストモス社と協議を進めてまいります。

これにより当社は、2013年から3年間にわたり合計約20万トンの米国産L Pガスを受け入れる予定です。なお、価格指標には米国プロパン連動価格^{*1}が適用される予定であり、米国産L Pガスの購入、および価格指標として米国プロパン連動価格を適用することは、いずれも当社として初めてのことです。

当社は、燃料の多様化の一環として、姉崎^{あねがさき}火力発電所において中東・豪州産などのL Pガスを燃料として使用^{**2}しておりますが、2013年からの3年間において、燃料として一定のL Pガスの需要が見込めること、また、米国産L Pガスは高い経済性が期待できることから、このたびアストモス社との契約の基本合意に至ったものです。

アストモス社は、米国エンタープライズ社がテキサス州ヒューストンで操業中のL Pガス輸出基地で生産されるL Pガスを購入し、日本へ輸送するとともに、その一部を当社へ販売いたします。これにより当社としては、L Pガスの供給ソースの多様化と燃料費の削減につながるものと考えております。

当社は、今後も、電力の安定的かつ安価な供給に向けて、経済的な燃料の安定調達に努めてまいります。

以 上

^{*1} 米国プロパン価格とは、米国テキサス州モントベルビューで取引されるL Pガスの価格であり、米国のL Pガスの価格指標。

^{**2} 姉崎火力発電所は、燃料の多様化の一環として、当社の火力発電所で唯一L Pガスの受入・貯蔵設備を有しており、昭和53年からL Pガスを燃料として使用している。平成23年度には原子力発電所停止の影響などにより、過去最高となる約95万トンのL Pガスを消費した（平成24年4月～平成25年1月までのL Pガス消費実績は約129万トン）。

1. アストモスエネルギー株式会社との基本合意の概要

売 主	アストモスエネルギー株式会社
買 主	東京電力株式会社
契約期間	2013年～2015年
契約数量	合計 約20万トン
価格指標	米国プロパン連動価格
受渡形態	本船持込渡し(DES:Delivered Ex-Ship)*

*本船持込渡し(DES):売主が買主の指定する受け渡し場所まで商品を持ち届け、そこで商品の所有権・危険負担が移転する受け渡し形態

2. アストモスエネルギー株式会社の概要

会 社 名	アストモスエネルギー株式会社
所 在 地	東京都千代田区
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ LPガスの輸入・仕入・販売、船舶の所有・賃貸借・売買を行うエネルギー企業。 ✓ 1962年、三菱液化瓦斯株式会社として設立。 ✓ 出光興産(株)と三菱商事(株)のLPガス事業を統合し、2006年にアストモスエネルギー(株)と改称。

3. エンタープライズ社の概要

会 社 名	Enterprise Product Partners LP
所 在 地	米国テキサス州ヒューストン
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 米国にて天然ガス、NGL(天然ガス液:分留装置を通じてプロパンやブタンを採取)、原油、石油製品、石油化学製品を取り扱うエネルギー企業。 ✓ ①NGLパイプライン輸送・貯蔵事業、②天然ガス・陸上パイプライン輸送事業、③原油・陸上パイプライン輸送・貯蔵事業、④海上パイプライン輸送事業、⑤石化製品、ガス他精製・貯蔵事業等を行う。 ✓ 1968年設立。

4. 姉崎火力発電所の概要

所在地	千葉県市原市姉崎海岸3番地
所長	ささやま てつろう 笹山 哲朗
敷地面積	約92万m ²

主な設備

		号機	出力	使用燃料	運転開始
発電設備		1号機	60万kW	LNG、重油、原油	昭和42年12月
		2号機	60万kW	LNG、重油、原油	昭和44年11月
		3号機	60万kW	重油、原油、LNG、LPガス、NGL	昭和46年6月
		4号機	60万kW	重油、原油、LNG、LPガス、NGL	昭和47年9月
		5号機	60万kW	LNG、LPガス	昭和52年4月
		6号機	60万kW	LNG、LPガス	昭和54年10月
		緊急設置電源	0.14万kW×4基	軽油	平成23年4月
燃料タンク	石油	原油	27,300kl×2基、28,700kl×1基、45,300kl×2基、45,900kl×2基		
		重油	2,900kl×1基		
	Lガス Pガス	プロパン	45,000kl×2基、60,000kl×2基		
		ブタン	40,000kl×4基		

以上